

# 競技注意事項

1. 開催日 令和4年10月1日(土) 予備日 10月9日(日)
2. 会場 三ツ沢公園陸上競技場 予備日 レモンガススタジアム平塚
3. 規則 2022年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項に準じて行う。
4. 変更・訂正 競技者の変更は一切認めない。プログラムの誤記訂正は最初の競技開始30分前までに本部記録係へプログラムに添付してある所定の用紙で届け出る。
5. 練習
  - ・「競技場使用上の注意・お願い」に従い、個別に行うこととする。ただし、投擲・跳躍の練習は審判の指示に従って行うこと。本部のアナウンスに注意し、その指示に従うこと。
  - ・フィールドの公式練習は、全て試技順に呼び出して行う。
  - ・競技者以外の練習は認めない。
  - ・公式練習 走高跳はバーをかけずに1回の助走練習と、男子1m55(四種1m40)、女子1m30(四種1m20)の高さで1回認める。棒高跳は同一高さで2回までの練習を認める。ただし高さは、2m60、3m50、4m00から選択する。
6. 競技用靴について 2022年度日本陸上競技連盟競技規則TR5.2及び(国内)競技用靴に関する主要規則を適用する。靴底の厚さが800m未満のトラック種目(ハードル含む)は20mm、800m以上のトラック種目は25mmを超えるシューズを使用することができない。本競技会において、フィールド専用シューズのみ適用除外とする。
7. 招集
  - ・通常の1次コールは行わない。
  - ・競技順序記載の集合時刻に、各種目の集合場所で最終コールを行う。
  - ・最終コール後は、所定の場所で体を動かして良い。
  - ・荷物は自分のアスリートビブスの番号を書いたビニール袋に入れ、所定の場所に置く。
  - ・フィールド種目は、呼び出しがかかった時点でピットに出る。
  - ・フィールド種目で、集合時刻までに前の競技が終了していない場合は、別に定める待機場所で最終コールを受ける。
  - ・招集に遅れた場合は棄権とみなし、競技に参加することはできない。
  - ・集合場所での受付は本人が必ず行うこと。このときアスリートビブス、腰ナンバー標識、シューズもしくはスパイクの確認を行う。  
(ピンの長さはトラック競技他9mm以下、走高跳12mm以下)
  - ・四種競技では全ての種目の招集を集合場所で行う。最終種目は組み替えを行う。
8. リレー
  - ・オーダー用紙の提出は、競技順序に記載されている提出時間に競技者係へ提出する。
  - ・競技者は、1~4走者のそれぞれ指定された場所へ集合時刻までに集合する。
9. アスリートビブス(ナンバーカード)
  - ・胸・背に確実にとめる。ただし跳躍種目は、背または胸につけるだけでもよい。
  - ・布の大きさは、横240mm、縦160mmとし、数字は高さ10cm以上、幅5cm以上で太く飾り文字は使わない。白布には番号だけを記入し、学校名等は記入しない。男子は黒字、女子は赤字。ただし旧基準(白のB5版の大きさの布、男子黒、女子赤字で飾り文字は使用しない)のアスリートビブスの使用を2023年3月まで認める。
  - ・トラック種目では、主催者が用意した腰ナンバー標識を使用する。ただし、安全ピンは持参すること。選手(リレーは4走のみ)は集合時刻までに競技者係で受け取り、右腰に付けておく。競技後に回収はしない。
  - ・四種競技の最終種目の腰ナンバー標識は、集合場所で配布する。競技後に回収はしない。
10. スタート
  - ・スタートの合図はイングリッシュコマンドで行い、1回目の不正スタートで失格とする。四種競技は、各レースで2回目以降の不正スタートをした者が失格となる。
  - ・スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告(イエローカード)を与えられることがある。本大会は種目ごとの累積とし、同一種目のイエローカード2枚で当該種目のみ失格(レッドカード)とする。但し、競技会からは除外しない。
  - ・3000mについては2段スタートで行う。
  - ・800mのスタートについては1レーンに1~2名入れてセパレートレーンで行う。
11. 計測
  - ・トラック  
すべての競技者のタイムを計測する。ただし中長距離種目は競技進行上制限タイムを設け、右記の時間を超過した場合はただちに競技を終了する。

|    |       |       |        |
|----|-------|-------|--------|
| 共通 | 800m  | 1500m | 3000m  |
| 男子 | 2分30秒 | 5分00秒 | 10分40秒 |
| 女子 | 2分50秒 | 5分40秒 | —      |

・フィールド計測ライン

|     | 男子                        | 女子                      |
|-----|---------------------------|-------------------------|
| 走幅跳 | 5m50                      | 4m50                    |
| 砲丸投 | 9m50                      | 9m00                    |
| 走高跳 | 1m60 (5cm) ・ 1m75 (3cm)   | 1m35 (5cm) ・ 1m50 (3cm) |
| 四種高 | 1m45 (5cm) ・ 1m60 (3cm)   | 1m25 (5cm) ・ 1m40 (3cm) |
| 棒高跳 | 2m80 (20cm) ・ 3m20 (10cm) |                         |

・フィールド計測ライン及びバーの上げ方は上記の通り。ただし当日の状況により変更することがある。

12. 予選通過及び決勝について

トラック

- ・全ての競技者のタイムを比較し決勝進出を決める。決勝に進む人数を超えた場合は、同記録者の1/1000秒を判定して決勝進出者を決定する。それでも決められない場合は100m・200m・400m・ハードルは抽選とし、800m・1500mは次のラウンドに進出できる。決勝のレーン抽選は、主催者が公平に行い、決勝の番組編成はアナウンスおよび電光掲示板、掲示板で伝達する。
- ・1500mは15名で決勝を行う。

フィールド

- ・走幅跳・砲丸投は3回の試技でTop8を選出し、その後3回の試技を行う。走高跳・棒高跳は、連続する3回の失敗試技で、競技終了とする。

13. 順位決定について

トラック

- ・すべての競技者のタイムを比較し順位を決める。同記録の場合は、同記録者の1/1000秒を判定して決定する。それでも決定できない場合は同順位とする。

14. 表彰

- ・表彰式は行わない。各種目3位までに賞状・メダル、8位までに賞状を授与する。

15. 開・閉会式

- ・開閉会式は、通告のみ行う。

16. コーチングエリアの使用法

- ・直接声かけ等をする時間のみにとどめ、長時間コーチングエリアにとどまらない。
- ・コーチングエリアでの写真・ビデオ撮影等は認めない。
- ・コーチングエリア前に、ウォーミングアップエリアがある場合、選手はその手前で指示を受けること。
- ・役員に断りなく競技場所を離れてコーチングエリアに移動した場合、警告の対象となる。
- ・スタンドの上下にコーチングエリアを設置している場合、スタンド下のコーチングエリアの使用は、競技時間中に競技役員を行っている審判が、一時競技役員を離れコーチングする場合のみ使用を認める。

17. その他

競技場の利用のしかた

- ・「三ツ沢競技場使用上の注意・お願い」参照。

